

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		上野浮世絵行燈				所管	文化産業観光部 観光課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	平成19年度		
		[小 柱]							[終了予定]	- 年度		
		[施 策]										
	根拠法令等		〔法令等名〕									
	事業対象	上野恩賜公園及び公園内施設来訪者										
	事業目的	上野恩賜公園内の園路に浮世絵行燈及び案内看板を設置することによって、上野恩賜公園を訪れた観光客等を上野山下の街や商店街へ誘導する。										
	事業内容	上野地区の回遊性向上を図るため、上野公園内の園路に浮世絵行燈及び大型案内行燈を合計165基設置した。また、清水観音堂、東京国立博物館等、歴史的建造物のライトアップを通年でを行い、夜間の観光魅力をアピールする。										
委託の有無	一部委託	委託内容	浮世絵行燈の設置、撤去委託									
補助金の有無	なし											
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	浮世絵行燈設置数	基	168	165	168	168					
		チラシ印刷数	部	15,000	10,000	7,000	10,000					
	成果指標	浮世絵行燈設置日数	日	150	73	61	147					
	決算額	(単位：千円)			1,748	1,860	1,736					
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			1,800	1,250	1,704					
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			1,739	1,825	1,699					
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			10	35	38					
		総経費			3,549	3,110	3,441					
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0					
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	121	0							
一般財源（区負担額）			3,549	2,989	3,441							
前年度から改善した事項	大型行燈へのチラシ補充回数を適切な回数に減らし、設置期間を延ばした。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	3	上野公園及び公園内施設と、上野山下の街や商店街との回遊性を向上させるためには、有効な事業である。									
	効率性	3	浮世絵行燈は、毎年使いまわしており、ほぼ設置・撤去委託費用のみで効率的に実施している。									
	手段の適切性	3	上野の山は浮世絵の題材にもなった縁ある地であり、上野山下に向けて趣のある浮世絵行燈が並び灯る風景を楽しむ人も多い。上野ならではの事業である。									
目的達成度	4	浮世絵行燈設置前と設置後で上野公園園路の通行量調査を行ったところ、設置後の通行量は約30%増であった。よって上野公園と上野の街の回遊性向上のために、適切な手段と言える。										
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了					
上野公園内での浮世絵行燈やライトアップの認知度は高まっている。今後さらなる上野地区の回遊性向上を図るため、告知などについて工夫を重ねていく。						維持						